

本宮ひろ志

サラリーマン

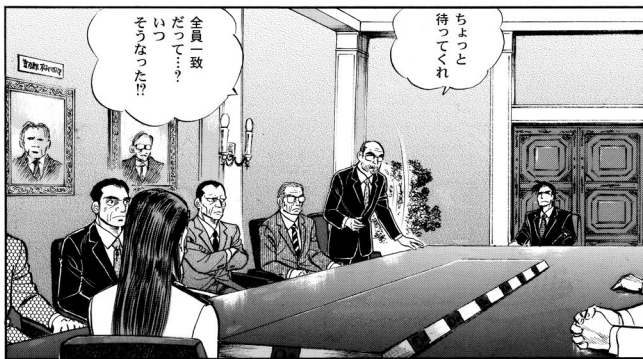
金太郎

五十歳

分冊版

3





結構です  
私の要望を  
承知できない  
なら……

直ちに  
この部屋を  
出て行って下さい  
クビです！

その前に一言……  
なぜあなた方の  
レベルで決められ  
ないのですか？

いい加減  
目を覚ましな  
さい！  
民間企業の  
経営陣ですよ

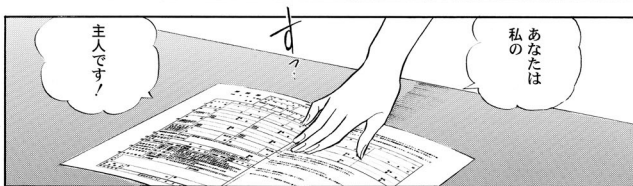
飾りの人形じゃ  
ないでしょう？！  
自分達の事は  
自分達で  
決める！！

それが……

明確なる  
主都電力の  
新しい出発です！

へえ……っ  
あんた  
立派な帝王学を  
仕込まれてるん  
だな……

やっぱり  
俺の方が  
秘書だろ  
最初から  
そう言えよ



そして  
私は何でも  
あなたに  
従います

それを出す事に  
よってあなたは  
私の主人です！  
今回の人事に  
何の不自然さも  
なくなります



くだらない  
冗談は  
やめろ

こういう  
公の  
席ですよ！



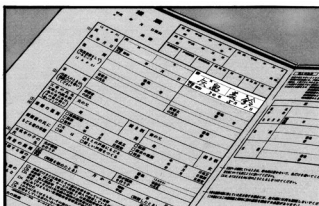
役員の  
皆さんも  
わかるわ

矢島さんが  
いやらしく  
私を  
押し倒した  
結果じゃない  
ってね

もう一枚  
サインがあるの  
本当は  
こっちの方が  
先かな……

公な席だから  
やってるんです







俺はお前と  
やってねえぞ  
手も  
握ってねえっ

美鈴に  
何を吹き込んだ!?  
このヘビ女ア!!



アジアの外れの  
国……その地方の  
電力会社の  
トップなんて事  
じゃない



あなたは……  
私と結婚して



あなたの奥さんは  
あなたの力と  
才能を信じ  
この書類に  
判を押したわ

私の目の前  
でね……

これから先の  
金太郎は  
あなたに預ける  
と!

エネルギーの  
世界最大企業

W・Eのトップに  
なる人間なの



主都電力  
なんて  
その通過点の  
一つに過ぎない

日本にそんな  
サラリーマンが  
一人でもいた...?  
誰もいない!  
いる訳がないわ

私を妻にする事で  
あなたは  
歴史に残る  
サラリーマンに  
なるのよ!!

